

平成30年11月1日(木)



つつじが丘小学校
学校だより

つつじ

昭島市立つつじが丘小学校長 上田 祥市



みんなで創る学校

副校長 森本 弘子

秋らしい、気持ちの良い季節になりました。澄んだ空の下、休み時間に校庭で遊んでいる子供たちの姿が増えてきました。クラス遊びや、担任も一緒になっての鬼ごっこや長縄跳びなど、元気いっぱいかけ回る子供たちの声が学校中に響いています。



10月は落ち着いた生活の中で、じっくりと日常の学びに取り組む期間でした。学校では、今学期の始めに、講師を招いて新学習指導要領について学びました。そこで学んだことをもとに学力調査の結果分析や実態把握を行いながら、授業改善に取り組んでいます。

先日、子供たちにとってより深い学びとなる授業づくりを目指して、学年毎に授業計画を立て、研究授業を行いました。授業後の協議会では、先生たちが積極的に授業検証し、熱い議論を行いました。良かった点も伝えますが、子供たちに対する問いかけはどうだったのか、振り返りでもっと子供たちの考えを出させたいなど、活発に意見を出し合い、あっという間に時間が経ちました。



合言葉は、「明日からの授業に生かそう。」です。協議会で学んだことを実践していきます。

さて、今月末には、文化的行事「アートフェスティバル」が行われます。ねらいは次の三つです。「自主性の伸長」児童が自分で考えて主体的に取り組みます。「協力する体験」互いの表現を見合い、かかわり合う体験を通して協力する楽しさを味わい、一体感や連帯感をもちます。「豊かな情操の育成」アートの力で学校を変身させる活動の中で、感動体験を味わいます。

全クラスから実行委員が組織され活動を始めています。学校が、教室がどんな姿に変身するのか子供たちの力に期待します。

日常の学びと行事の学び、それぞれの学びを充実させて大きな成長へつなげていきます。

地域・保護者・学校が共に

10月13日(土)の道徳授業地区公開講座、学校公開には、多数の皆様にお越しいただきました。4校時には、「輝けつつじっ子の会」を開催し、地域・保護者・学校の三者で子供たちの成長に向けて意見を交わしました。地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な取組を行う「地域学校協働本部」構想の一環として、地域の方々にも参加していただくことができ、有意義なものとなりました。

参加者の方から、継続してほしいという意見を多数いただきました。今後もより充実した会になるようにしていきたいと思えます。

